



出水小学校 学校だより

そ っ た く き
啐 啄 の 機 R7 No. 14

令和7年11月14日(金)

熊本市立出水小学校

校長： 横山 幸生

創立150周年記念式典及び学習発表会 お世話になりました！

11月8日(土)熊本県立劇場にて、創立150周年記念式典及び学習発表会を行いました。

子ども達はこの日に向けて、家族や地域の皆様に感動を届けようと一生懸命練習に取り組んでまいりました。県立劇場でのリハーサルはできないため、実際にステージの上に立つのはこの日が初めてだったのですが、みんな元気よく、堂々と自分らしく、演技や演奏に取り組みました。

きっと子ども達は、このステージに向けて練習を積み重ねてきたこと、当日ドキドキしながらステージに立ったこと、終わった後、たくさんの拍手をもらってうれしかったことなど、一生心に残る思い出になったことでしょう。その思い出こそが、かけがえのない、最高の150周年記念の宝物だと思います。きっと大人になってもその思い出はずっと一人一人の心の中で輝き続けることでしょう。来賓の方々からも「すばらしかった」「大変感動した」とたくさんのお褒めの言葉をいただきました。

保護者の皆様におかれましては、お忙しい中にご参加いただきありがとうございます。また、参観にあたりましては、色々とお願ひ事ばかりで恐縮だったのですが、互いに配慮していただきながら、スムーズな運営にご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。また、PTA 役員の皆様、及び運営にご協力いただいた保護者の皆様には、この日に向けて事前の打ち合わせや準備、当日は早朝からの楽器搬入や会場づくり、参観者の誘導など大変お世話になりました。おかげさまをもちまして、盛会のうちに終わることができました。ありがとうございます。

最後に、式典の中で述べた校長式辞の一部を紹介いたします。

時代は変われどもこの150年の間に変わらなかったものが2つあると思います。一つ目は、地域や保護者の方々の温かく優しい支えです。雨の日も風の日も行っていただいている登下校の見守り、授業や行事へのご協力、子ども参加の地域行事の開催など時代の変化に合わせながら、子どもの可能性を最大限に引き出すために、ご尽力いただいております。これらのことはこの150年間形を変えながらも、連綿とこの出水校区に続いてきた活動です。皆さんの愛情に包まれ、子ども達は安心して、伸び伸びと自分らしさを発揮することができます。きっと子どもたちは、そのことに感謝の思いをもち、自分たちが大人になったときに、その時の子ども達のために力を尽くしてくれるでしょう。こうして出水校区の「温かい優しさのバトン」が受け継がれていくのだと思います。

また、二つ目の変わらないもの。それは瞳を輝かせ夢中に学ぶ子どもの姿です。学校の主役は何といっても子ども達です。現在、本校には心優しい子どもがたくさん集っております。自分の夢の実現に向かって、学校教育目標である「聴き合い、学び合い、支え合い」を合言葉に、日々の学校生活で自らの「学び」と友達との「絆」を深めております。正に子どもたちはきらきらと輝く地域の宝、社会の宝であると思います。校歌にも歌われています「永久に永久に伸び行く」子どもたちのために、私たち教職員一丸となって子どもたちの健全育成に向けて、最大限の努力をしております。そして、すべての子どもが安心して学ぶことのできる学校として、これからもその歩みを進めてまいります。

結びに、出水小学校150年を迎えるにあたり、これまで本校の発展に尽力された先人の皆様、歴代教職員の皆様、本校を巣立っていった卒業生の皆様、そして多大なご支援と、ご協力をいただいております地域、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。これからも出水小学校の伝統と誇りを受け継ぎ、地域と共にある学校として、確実に歩みを続けていくことをお誓いするとともに、本日お集まりの全ての皆様の本校に対する変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

